

## 令和7年度第1回札幌方面芦別警察署協議会議事概要

### 1 開催日時

令和7年6月30日(月)午後4時0分から午後5時0分までの間

### 2 開催場所

札幌方面芦別警察署 会議室

### 3 出席者

#### (1) 協議会委員 6人(定員7人)

会長 山田 恵一

委員 畠山 優喜、平尾 道代、須藤 美紀子  
斎藤 敏幸、高瀬 諒

#### (2) 警察署員等 5人

署長 佐々木 好明

副署長 石川 貴章

刑事・生活安全課長 水島 典也

地域・交通課長 土屋 典照

警察本部警務部管理官 赤間 伸次

### 4 会長挨拶

より良い芦別を築くため皆様のお力をお借りできればと考えている。  
忌憚のない御意見をお願いしたい。

### 5 新任委員挨拶

### 6 署長挨拶

委員の皆様には、御多用の中、協議会に御足労いただき感謝を申し上げます。  
本日のテーマも地域の治安を維持するために必要な事項と考えている。  
委員の皆様から忌憚のない御意見を賜りたい。

### 7 懲戒処分等報告について

### 8 諮問事項

#### (1) 諮問事項「児童・生徒の交通事故防止対策」

##### ア 説明

地域・交通課長から児童・生徒が当事者となる交通事故発生状況、心身の発達段階に応じた段階的かつ体系的な交通安全教育の実施状況のほか、自転車利用者の乗車用ヘルメット着用状況等について説明した。

イ 委員の意見（答申）

① 自転車乗車用ヘルメットの着用状況について

○ 委員（質問）

芦別市内における自転車利用者のヘルメット着用状況はどうか。

○ 警察（回答）

自治体別の着用率は把握していない。自転車通学をする中学生らが乗車用ヘルメットを着用している姿は見かけるが、普及しているとまでは言えない状況にあると認識している。

○ 委員（質問）

なぜ、ヘルメット着用が普及しないのか。

○ 警察（回答）

自転車を利用し外出した際のヘルメットの保管方法や、髪型が乱れることも一つの要因として考えられる。

② ヘルメット着用率の向上について

○ 委員（質問）

以前に比べ、ヘルメットを着用する自転車利用者が増えてきていると感じているが、着用率を向上させるためには、大人が率先して着用する必要があるのではないか。

○ 警察（回答）

引き続き、自転車乗車時のヘルメット着用を広く呼び掛けていきたい。

③ スケアードストレイトの活動について

○ 委員（質問）

交通事故を再現するスケアードストレイトに関して、ショックを与える可能性を考慮して小中学生は対象外としているとの説明があったが、刺激を和らげた方法で実施するなど、小中学生にも弱い刺激を与えて交通安全意識を高める必要があるのではないか。

○ 警察（回答）

効果的な交通安全教育を推進するための参考としたい。

(2) 諮問事項「警察署の機能強化に向けた再編整備計画の取組状況と当面の予定について」

ア 説明

警察本部警務部管理官から「警察署の機能強化に向けた再編整備計画の取組状況と当面の予定について」について説明した。

イ 委員の意見（答申）

取組に関する意見、要望はなかった。

9 その他の要望・意見と警察の説明

その他の取組に関する意見、要望はなかった。

以 上